



歳入の合計は前年度と比べて  
1億1,047万円の減額

歳入の主な増減項目について

- 地方税 4,462万円の増  
個人町民税増、中小企業の償却資産および事業用家屋に係る特例措置終了による固定資産税及び入湯税の増
- 地方特例交付金 2,579万円の減  
中小企業の償却資産および事業用家屋に係る特例措置終了
- 地方債 7,040万円の減  
給食センター炊飯設備整備工事事業の増、温水プール加温装置交換工事の減
- 国庫支出金 5,469万円の減  
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金、道の駅整備費負担金、感染症対応地方創生臨時交付金の増、子育て世帯臨時特別給付金給付事業補助金、非課税世帯臨時特別給付金給付事業補助金の減
- 県支出金 2,105万円の増  
多面的機能支払交付金事業費補助金、中山間地域等直接支払交付金、元気な地域農業担い手育成支援事業費補助金の増

用語の解説

- 議会費・・・議員の報酬などの経費
- 総務費・・・行政全般の運営管理などの事務経費
- 民生費・・・障がい者や高齢者、子育てなどの福祉にかかる経費
- 衛生費・・・保健や環境・衛生の向上にかかる経費
- 労働費・・・雇用対策や人材育成、勤労者支援などにかかる経費
- 農林水産業費・・・農林水産業の振興・管理や整備にかかる経費
- 商工費・・・工業や商業、観光の振興にかかる経費
- 土木費・・・道路や橋、町営住宅などの設備にかかる経費
- 消防費・・・消防や防災にかかる経費
- 教育費・・・小中学校や生涯学習、体育活動などの経費

# 令和4年度 決算のあらまし

## 歳入の総括

一般会計の歳入総額は、75億994万円。  
前年度と比較すると1億1,047万円の増額、率にして1.5%の増となりました。町税は、前年比5.7%の増加となりました。収納率は、98.5%であり、昨年度と比較し0.2%増加しました。歳入の47.0%を占める地方交付税は、普通交付税が前年比0.5ポイント減の29億8,804万円、特別交付税が前年比2.1%増の5億4,157万円となり、前年比0.2%の減となりました。使用料及び手数料について、赤倉温泉スキー場にて第72回全国高等学校スキー大会が行われたこともあり、前年比14.4%増加となりました。また、ふるさと納税について、前年差4,378万円増額の1億4,069万円となりました。  
歳入に占める自主財源は29.2%であり、国の地方財政対策や県の事業推進に大きく左右される状況に変わりありません。

## 一般会計財源内訳

<b>75億 994万円</b> (前年比)		
町税	8億2,477万円	5.7%
地方譲与税ほか	2億8,332万円	▲6.9%
地方交付税	35億2,961万円	▲0.2%
分担金及び負担金	8,075万円	▲5.2%
使用料及び手数料	1億2,484万円	14.4%
国庫支出金	7億4,140万円	▲6.9%
県支出金	3億9,928万円	5.6%
財産収入ほか	5億7,123万円	14.9%
町債	3億6,350万円	▲16.2%
繰入金	5億9,124万円	23.1%

## 歳出の総括

歳出の総額は、70億8,550万円。前年度と比較すると2,572万円の減額、率にして0.4%の減となりました。  
特徴的事業について、コロナ対策、物価高騰対策として、経営安定化緊急支援、燃料価格高騰対策支援、価格高騰緊急支援給付、プレミアム商品券事業、もがみ温泉郷プレミアム補助事業等を行ない、総事業費2億5,416万円となりました。  
全国的イベントとして、2月に第72回全国高等学校スキー大会が行なわれ、実行委員会を発足し準備・運営を行ないました。  
施設関連では、給食センターにおいて、炊飯施設アレルギー対策室整備を行ない、令和5年度に完成します。また、道の駅整備も本格的に始まり、こちらも令和5年度に完成します。  
歳入との差し引きでは、4億2,444万円の黒字となり、貯金である基金残高は前年差1億9,301万円の減となりました。町は今後も、大切な財源をもとに住民サービスの向上に努め、自立した規律ある財政運営を行なっていきます。

<b>70億 8,550万円</b> (前年比)		
議会費	7,800万円	▲0.5%
総務費	14億5,443万円	▲14.3%
民生費	11億5,331万円	▲9.0%
衛生費	10億4,967万円	12.4%
労働費	651万円	▲1.8%
農林水産業費	4億6,640万円	5.4%
商工費	4億1,385万円	26.1%
土木費	6億8,462万円	▲4.2%
消防費	2億3,018万円	12.8%
教育費	7億6,703万円	3.0%
災害復旧費	2,388万円	19798.3%
公債費	7億5,306万円	9.2%
諸支出金	456万円	9.3%



歳出の合計は前年度と比べて  
2,572万円の減額

歳出の主な増減要因について

- 総務費 2億4,256万円の減  
価格高騰緊急支援給付金給付事業・物価高騰対策支援給付金給付事業費の増、非課税世帯臨時特別給付金給付、ふるさともがみ応援寄附事業費、財政調整積立金及び減債基金積立金の減
- 民生費 1億1,473万円の減  
感染症対応子育て支援給付金、子育て世帯臨時特別交付金の減
- 衛生費 1億1,575万円の増  
病院事業特別会計繰出金、介護老人保健施設事業特別会計繰出金及び水道事業特別会計繰出金の増
- 農林水産業費 2,409万円の増  
多面的機能支払交付金、中山間直接支払交付金、感染症対応燃料価格高騰対策支援金の増
- 商工費 8,576万円の増  
感染症対応経営安定化緊急支援金、道の駅整備事業費の増、赤倉温泉スキー場圧雪車の購入
- 土木費 2,997万円の減  
除雪対策費の減、公共道路・道路新設改良費事業費の増
- 教育費 2,241万円の増  
炊飯施設アレルギー対策室整備事業費の増、温水プール加温装置交換工事費の減
- 災害復旧費 2,376万円の増  
6月27日豪雨被害による災害復旧事業費の増
- 公債費 6,367万円の増

